

令和5年
伊豆市議会3月定例会

一 般 質 問

令和5年3月

令和5年伊豆市議会3月定例会一般質問者と質問事項

3月13日(月)午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
1	7. 杉山 武司	1 学校給食センター事業について	教育長	1
		2 部活動の地域移行について	教育長	2
		3 不適切盛り土について	市 長	3
2	9. 鈴木 正人	1 令和5年度の市政運営のポイントと市長施政方針演説の真意を読み解く	市 長 教育長	4
3	16. 杉山 誠	1 少子化克服に向けた子育て環境の整備	市 長 教育長	6
		2 デフリンピック開催支援と共生社会の構築		7
		3 帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成できませんか	市 長	9
4	1. 小川 多美子	1 ヤングケアラー支援について	市 長 教育長	10
		2 ろう者と手話とデフリンピック		12
5	11. 波多野 靖明	1 伊豆市全体で考える市民参加型の観光について	市 長 教育長	14
		2 市内防犯カメラの設置について	市 長	15

3月14日（火）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ペー ジ
6	6. 下山 祥二	1 伊豆中央道、修善寺道路の料金徴収について	市 長	1 6
7	12. 小長谷 順二	1 自然災害から市民生活を守る健全な森林育成	市 長	1 8
		2 観光施策と財源確保		1 9
8	14. 三田 忠男	1 令和5年度当初予算の概要について	市 長	2 0
		2 地域ふくしの充実		
		3 食の安全安心と自然農法や有機農法振興策	市 長 教育長	
		4 観光資源の開拓と中伊豆地区の活性化	市 長	2 1
		5 道路網の整備と伊豆スカイライン活用について		
		6 伊豆市監査委員の監査結果の指摘に対する取り組み状況		
		7 公の施設の市民利用が禁止された場合の復旧までの流れについて	市 長 教育長	
9	3. 鈴木 優治	1 義務教育（小学校・中学校）の将来をどのように描きますか	市 長 教育長	2 2
		2 伊豆市公共施設再配置計画の進捗状況は	市 長	2 3
10	4. 飯田 大	1 牧之郷地区計画の現状と主要事業について	市 長	2 5

3月15日（水）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ペー ジ
1 1	8. 星谷 和馬	1 人口減少対策	市 長	2 7
1 2	2. 浅田 藤二	1 地域づくり協議会について	市 長	2 9
		2 ふるさと納税とDMOについて		3 1
		3 部活動の地域移行について	教育長	
1 3	5. 黒須 淳美	1 「やさしい日本語」で伊豆市を元気に	市 長 教育長	3 2
		2 伊豆市の宝、子どもの笑顔のために		3 3

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 2月 27日

伊豆市議会議長 様

議席番号 7 議員名 杉山 武司

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問(一括・分割) ※発言予定時間((20分)・30分) ②質疑 ③討論(反対・賛成) ④その他()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 学校給食センター事業について	<p> 新中学校の開校に向けた概要が見えてきました。3月22日には建築工事の安全祈願祭が執り行われ、令和5年度の新中学一年生は新しい中学校の制服を着用して通学と伺っています。 </p> <p> このように令和7年4月開校の伊豆中学校に向け多方面で着々とあゆみが進んでいます。 </p> <p> 一方、新中学校の学校給食をどうするのか、態勢が見えていません。学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につける必要があることを伝えることにあるとされています。 </p> <p> 天城、中伊豆、修善寺の3カ所の給食センターでは、児童生徒等、子供たちの健やかな成長を図るため、安全安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供することを目的に、天城給食センターでは天城中学校、天城小学校、修善寺東小学校、土肥小中一貫校の給食調理と配送事業を担当。中伊豆給食センターでは中伊豆中学校、中伊豆小学校、修善寺南小学校、熊坂小学校、修善寺小学校の給食調理と配送事業を担当。更に修善寺中学校給食事業では、修善寺中学校の調理を担当しているのが現在の小中学校の学校給食の状況です。 </p>	
	市長 教育長	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 部活動の地域移行について	<p>令和7年4月、伊豆中学校が開校した時の各給食センターの役割はどうするのか。以前、3カ所の給食センターの老朽化が顕著であるような報告があったように記憶していますが、新中学校の開校に向け、教育委員会の新中学校開校準備委員会では各給食センターの施設に関する面と、調理と配送の態勢についてどのような検討議論がなされてきたのかお伺いしたい。</p> <p>加えて保護者の皆様からのご意見はどのようなものがあったのかお伺いいたします。</p> <p>静岡県教育委員会では、公立中学校の部活動の地域連携や地域クラブ活動の在り方に関する方針を策定したようです。国が示したガイドラインを踏まえ2023年度から市町が行う検討の方向性をまとめたとしています。</p> <p>今後、市町の教育委員会などの学校設置者が行う取り組みとして、地域移行に関する協議会の設置や教員の兼業規定の検討なども示されました。</p> <p>県が策定した方針は、部活動について「スポーツや文化等に親しませ、学習意欲の向上や責任感の涵養など学校が目指す資質・能力の育成に資する」と教育的意義を強調し、学校の働き方改革と生徒の活動機会確保との両立を目指す考えを掲げたとしています。</p> <p>県の教育委員会は本年2月下旬に県内市町の教育委員会に方針を説明するとしています。すでに、県教委からの方針説明があったと思いますが、部活については保護者の皆様の関心が高いと思います。県教委の方針その概要の説明を求めます。</p> <p>また、この県教委の方針の説明を受け、市の教育委員会の今後の対応のお考えを伺います。</p>	教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
3. 不適切盛り土について	<p>熱海の土石流後の盛り土総点検では、県内で196カ所の不適切な盛り土が判明しました。この盛り土総点検は熱海市伊豆山の土石流発生後に全国で実施。</p> <p>静岡県では排水設備の不備や届け出と異なる造成などの盛り土を不適切盛り土と指定した。しかし県は「土地所有者が特定される」ことを理由に、不適切盛り土の所在地は市町名と個所数は発表しましたが、具体的な場所の情報は非公開としました。</p> <p>それによると、伊豆市内では2カ所の不適切な盛り土があるとされました。一カ所は平和寺と思われませんが、他の一カ所の場所はどこなのか。この盛り土の総点検の実施事業主体は地方自治体とされています。</p> <p>当然市では把握はできていると思いますが具体的な場所の情報の公表はできますか。</p>	市 長

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 2月 27日

伊豆市議会議長 様

議席番号 9 議員名 鈴木 正人

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
令和5年度の市政運営のポイントと市長施政方針演説の真意を読み解く	<p>今定例会初日、令和5年の市長施政方針演説が行なわれました。市長は演説の冒頭で、「<u>今年の施政方針は、敢えて昨年と全く同じにしました。</u>」と述べられ、以降はその理由の説明と「<u>1年前</u>」の施政方針演説の原稿を読むといった極めて異例の施政方針演説がなされました。</p> <p>そこで以下伺います。</p> <p>① <u>市長の演説の真意を改めて伺います。</u></p> <p>② 1年前の「令和4年3月定例会」の市長施政方針演説で示された「<u>生産性革命</u>」に係る「<u>6つ</u>」の具体的政策の<u>生産性向上のイメージ</u>について、現時点での到達点は<u>どうなっているのか</u>伺います。</p> <p><u>また、令和5年度における取組みについて</u>伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 移住・定住政策 2. 観光振興政策 3. 福祉政策 4. 教育政策 5. 危機管理 6. 行財政改革 	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>一方で、今定例会初日の「令和5年度一般会計予算案」の提案理由及びその概要説明では、「伊豆市新時代の幕開けに向けた予算編成」として、令和4年度の年間の市内の出生者数が「100人を大きく割り込む見通し」となった危機的な状況にある少子化をはじめとする社会・経済問題に、第2次総合計画後期基本計画の着実な遂行と並行して、果敢に取り組むとしており、中でも特出して『少子化緊急対策』を打ち出すなど、これまでになかった当局側の危機感を感じたのも事実であります。</p> <p>そこで以下伺います。</p> <p>③ <u>少子化を含む「人口減少対策」は市政課題の「1丁目1番地」であることは、当局側も十分に認識し、取り組んできていると考えますが、伊豆市誕生以降の当該政策の効果の検証はなされているのか伺います。</u></p> <p>④ <u>また、この度の『少子化緊急対策』については③の検証（PDCAサイクル）に基づき、立案されたものであるのか伺います。</u></p> <p>⑤ <u>この危機意識を市民と十分に共有し、理解を得る努力が必要であると考えますが、市長の見解を伺います。</u></p>	

議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 2月 27日

伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 杉 山 誠

No. 1

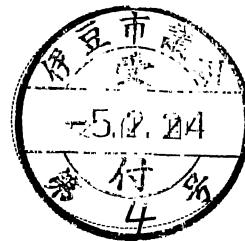
発言の種別 (○で囲む)	① <input type="checkbox"/> 一般質問 (<input type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (20分 ・ <input type="checkbox"/> 30分) ② 質疑 ③ 討論 (反対 ・ 賛成) ④ その他 ()	
	発 言 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 少子化克服に向けた子育て環境の整備	<p>少子化はコロナ禍において想定を大きく上回るスピードで進み、児童虐待やいじめ、不登校、自殺も増え、子どもをめぐる状況が深刻さを増しています。また、近年若い世代の家族観が大きく変化し、「子どもを持つことがリスク」と感じる若者が増えています。当市においても少子化はより深刻で、今年度の出生数は70人台に落ち込む見込みとのことです。</p> <p>国においては今年4月から「こども基本法」が施行され、こども家庭庁も設置されます。岸田総理は「異次元の少子化対策」を掲げ、子ども関連予算を倍増する計画です。</p> <p>当市の子育て支援策は先進的各市町に比べても遜色のないものとされており、昨年12月補正予算に追加された出産・子育て応援交付金事業の経済的支援以外にも、国の示す伴奏型相談支援体制については、すでに当市では実施されていることを伺いました。さらに、当初予算では子育て関連の新規事業が数多く盛り込まれています。</p> <p>しかし、深刻な少子化の現状から、さらに課題を洗い出し、市としてできる限りの施策を講じていくことが必要と考え、以下伺います。</p> <p>① <u>非正規労働の増加など、経済的理由で結婚に踏み出せない男女も多いとされている。出会いの場創出以外にも、若者の所得向上のための施策が必要と考えるが当市の取り組みはいかがか。</u></p>	市 長 教 育 長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2.デフリンピック 開催支援と共生社会 の構築</p>	<p>② <u>過去 20 年間、子どもを持つことへの希望はあまり変わっていないと考えられてきたが、近年、その希望が低下し、子どもを持つことを「リスク」と考える若者が増えていることが指摘されている。</u> <u>このことについてどのように認識しているか。</u></p> <p>③ <u>当市では不妊・不育症治療費助成について、法律上婚姻している夫婦のみが対象となっているが、事実婚も対象に出来ないか。</u></p> <p>④ <u>妊娠や出産、子どもの発育状況などを記録する母子健康手帳の内容が 2023 年度に改定されるとのこと。デジタル化の推進や多言語対応、低体重出生児向けの発育曲線などあるが、当市の「子育てモバイル」との連携はいかに進めるか。</u></p> <p>⑤ <u>全国の小中学校で 2021 年度に不登校となった児童生徒が 24 万人を超え、過去最多となった。コロナ過でのストレスやいじめの低年齢化など、様々な影響があるとされるが、「居心地の良い学校」づくりのため、児童生徒、保護者、教職員が互いに話し合い、子どもの声が尊重される「学校内民主主義」を進めることが大切と考えるがいかがか。</u></p> <p>⑥ <u>子ども貧困や虐待などの問題は家庭の外からは見えにくく、事態が深刻化する場合が多い。小さな兆候からでも早期発見・対応につなげるため、関係機関が掌握する情報を連携させて分析・役立てる「データ連携」が効果をあげているが、当市の取り組みはいかがか。</u></p> <p>聴覚障がい者の五輪と呼ばれる「デフリンピック」の大会が、2025 年に日本においては初めて開催され、当市でも日本サイクルスポーツセンターを会場に自転車競技が予定されています。</p>	<p>市 長 教育長</p>

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>昨年ブラジルで行われたデフリンピックでは、コロナ過でありながらも、73 か国 2,412 人が参加し、日本選手は陸上や水泳などを含め過去最多のメダル 30 個を獲得しています。</p> <p>開催計画では、音が聞こえる人とそうでない人が共同して大会開催を実現していくことで、例えばスタートの合図や審判の声などを、目で見てわかる、視覚的に工夫をするなど、コミュニケーションや情報のバリアフリーを推進し、一歩進んだ共生社会の姿を示していくとしています。</p> <p>しかしながら、デフリンピック自体の認知度は低く、2021 年に日本財団が調べたデフリンピックの認知度は 16.3%でした。同じ調査でパラリンピックは 97.9%です。</p> <p><u>東京大会の成功に向けた機運醸成のためには認知度アップが課題とされていますが、当市の取り組みはいかがですか。</u></p> <p>パラリンピックでアスリートが挑戦する姿は私たちに多くの感動を与え、スポーツがこれほどまでに心を動かすのかと、再認識させてくれました。</p> <p>そこで、デフリンピックが伊豆市内でも開催されることを機に、デフスポーツやデフアスリートとつながり、知ること、障害に対する理解をより身近に考えることになり、多様性のある社会、共生社会を作り上げていく機運醸成になると考えます。</p> <p>そこで、本市でも<u>障害があるなしに関わらず、暮らしやすく活躍できるまちづくりのために、飲食店や公園、各種施設など、多くの市民が利用する場所において、あらゆる情報のバリアフリーを推進していくことが大切と考えますが、デフリンピックを見据えた取り組みはどのように進めますか。</u></p> <p>また、<u>保育・教育現場において、手話スポーツの体験や</u></p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>3 帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成できませんか</p>	<p><u>デファスリートとの交流、あるいは競技観戦など、共生社会構築のための啓発も進めるべきと考えますがいかがですか。</u></p> <p>帯状疱疹の原因は、子どものころに感染した水ぼうそうの水痘・帯状疱疹ウイルスで、水ぼうそうが治った後も、ウイルスは神経節に潜伏を続け、加齢や免疫の低下に乗じて再び活性化することで発症します。</p> <p>激しい痛みを伴い、症状が落ち着いても、後遺症として帯状疱疹後神経痛（PHN）で痛みが続くこともあります。</p> <p>国立感染症研究所による宮崎県での大規模疫学調査では、50歳以上から発症リスクが上昇し、70歳以上でピークに達し、80歳までに3人に一人が経験するとされています。</p> <p>帯状疱疹の予防にはワクチンが効果的で、2種類のワクチンが薬事承認されていますが、予防効果の高い不活化ワクチンでは、1回あたり約2万円で2回接種する必要があります。この費用は全額自己負担の「任意接種」であり、接種をためらう人も多くいます。</p> <p>国に対しては、予防接種法に基づき無料または低額で受けられる定期予防接種化が強く求められるところですが、まずは一番近いところで、住民の命と健康を守る役割を持つ地方自治体が取り組みを進めることが必要と考えます。</p> <p>コロナ禍のストレスなども患者増加につながっているとの指摘もあり、地域の実情に応じたコロナ対策などに使える国の地方創生臨時交付金を財源に、助成事業を行う自治体も増えています。</p> <p>当市でも、<u>帯状疱疹ワクチンの接種費用助成を行いませんか。</u></p>	<p>市長</p>

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 2月 24日

伊豆市議会議長 様

議席番号 1 議員名 小川 多美子

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	① <input checked="" type="checkbox"/> 一般質問 (<input type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (20分 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 30分) ② 質疑 ③ 討論 (反対 ・ 賛成) ④ その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
1. ヤングケアラー 支援について	<p>家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うような家族の世話を責任を持って引き受け家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを行っている18歳未満の子ども『ヤングケアラー』については、これまでも私を含めた複数の議員が質問しています。幸いなことに答弁によるとその時点では伊豆市にはヤングケアラーに相当する児童、生徒はいないとのことでした。</p> <p>最近ではケアを必要とする子どもは増加傾向にあるような報道も見かけますが、</p> <p>① <u>伊豆市には該当する子どもがいないのか、或いは潜在的にはいるが行政や周囲が気がつかないだけなのか気になりますが、どのように把握していますか。</u></p> <p>新潟県南魚沼市と神奈川県藤沢市の教員対象の調査を目にしました。それによりますと、これまで教員として拘わった児童、生徒の中でヤングケアラーではないかと感じた子どもがいたと答えた教員は、南魚沼市では25.1%、藤沢市では48.6%の回答がありました。ヤングケアラーという言葉を知らない子どももいたようです。</p> <p>実際にヤングケアラーとして生活している子どもは、自分の時間が取れない、友達と遊ぶことが出来ない、宿題など勉強が出来ないなどと、小学生から高校生に至るまで共通した悩みを</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>抱えているようで、中でも睡眠時間が十分に取れないなど深刻な悩みを抱えている子どもの存在もアンケート結果でわかりました。</p> <p>ケアについては、話を聞いてくれる人がいない、家族のことを知られたくない、偏見を持たれたくない、相談しても状況が変わるとは思わないし解決できるとも思わない、という子どももいるようですが、気づいてほしい、わかってほしいと思っている子どももいるのではないのでしょうか。</p> <p>学校生活への影響はケアしていない子どもに比べて、欠席をする、遅刻早退をする、忘れ物をする、提出物を出すのが遅れることが多い等、ケアしていることで多くのマイナス面もでています。ヤングケアラーは見過ごされやすく、見ようとしないと見えにくい存在だと思います。</p> <p>また、学校がケアラーではないかと思われる子どもに拘わろうと思っても保護者へのアプローチの難しさもあるようです。</p> <p>② <u>現在学校では、家庭訪問はどのように考えていますでしょうか。以前は担任の先生は玄関または部屋に上がってゆっくり話し合う時間がありました。家庭訪問の機会に家庭や家族の様子を知ることで、ヤングケアラーの存在に気づくことが出来るのではないかと思うのですが如何でしょうか。</u></p> <p>③ <u>埼玉県入間市を始め茨城県、鳥取県その他多くの自治体でヤングケアラーを支援する取り組みや条例の制定がされています。</u></p> <p><u>現在伊豆市のヤングケアラーの支援体制はどのような状況でしょうか、またこれから条例制定などは考えていませんでしょうか。</u></p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2.ろう者と手話とデフリンピック	<p>2025年11月に日本サイクルスポーツセンターでデフリンピックの自転車競技が開催される予定です。デフリンピックをご存じでしょうか。デフリンピックは、オリンピックやパラリンピック同様に聴覚障害者のための世界的なスポーツの祭典です。耳が聞こえないろう者は外見からわかりにくく、それが見えない壁となって生活も様々な場面で障害となります。それゆえに聴覚障害者は情報障害者とも言われています。</p> <p>聴覚に障害があると会話や電話でのコミュニケーションが上手に取れない、筆談も常に手を動かし続けなければならないことと、相手が視覚内にいないと会話が成立しにくいのです。最近ではメールやファックスなどもあります但し相手に届いているか確認するすべがなく不安だと聞きます。また、聞こえる人同士の話に参加できない、無視していると誤解されたり言いたいことが正しく伝わらない、災害時や緊急放送にも気がつかず情報不足になるなど様々な不都合があるようです。</p> <p>伊豆市では「伊豆市民が共にあゆむ手話言語条例」がありますがどれだけの人たちに周知されどれだけの市民が手話を使っているのでしょうか。</p> <p>現在市役所有志数人が手話を学び私達議員も何人か手話に触れ始めましたがなかなか難しいものです。手話は手指のうごき、口の動きを読み取ることや、表情も使って視覚的に表現する言語です。</p> <p>2年後に控えたデフリンピックの自転車競技開催の折には多くの観戦者が伊豆市を訪れることでしょうか。訪れた人たちと手話によるコミュニケーションで、おもてなしのお役立ちを考えてはいかがでしょうか拙い手話でも喜んでいただけるのではないのでしょうか。</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>① <u>伊豆市ではろう者等の悩み相談には、どのように取り組んでいますか</u></p> <p>② <u>物覚えがよく飲み込みの早い小学生に手話を教えるのは如何でしょうか。</u></p> <p>③ <u>オリンピックやパラリンピック開催前は早くから知ることが出来ましたがデフリンピックは、あまり知られていないようです。どのように周知をしますか。</u></p> <p>④ <u>「伊豆市民が共にあゆむ手話言語条例」が制定されていますが、この条例が形だけのもので一人歩きしていないか、気になります。条例に対する施策はありますか。</u></p>	

議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和5年2月27日

伊豆市議会議長 様

議席番号 11 議員名 波多野 靖明

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (<input checked="" type="checkbox"/> 20分 ・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
1.伊豆市全体で考 える市民参加型の 観光について	<p>世界中で新型コロナウイルスへの規制が緩和し、日本においてもインバウンドの受け入れが始まり、国内外の観光客が伊豆市に訪れるようになってきました。テレビなどの大手メディアでも観光地・伊豆を取り上げる番組が盛んに報じられるようになってきました。またネット配信や、訪れた方の SNS 発信も口コミ情報として伊豆市の魅力発信に繋がっていると思います。</p> <p>日本全国各地で、観光客の誘致に尽力している中、伊豆市の観光、誘客への取り組みについて、以下をお伺いいたします。</p> <p>①伊豆市の歴史名所、観光の見所、施設など、観光業に携わる人はもとより、市民に市内の観光についての周知はできているでしょうか。市として把握しているでしょうか。</p> <p>②観光に繋がる知識やおもてなしの研修などの取り組みは現在どのように行われているでしょうか。また今後どのような取り組みを考えているでしょうか。</p> <p>③子どもころから養う地元の見所や歴史、伝統、ジオへの取り組みはどのように行われているでしょうか。</p>
	答 弁 を 求める者
	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 市内防犯カメラの設置について	<p>昨今では様々な事件・事故の解決に防犯カメラの映像、ドライブレコーダーの映像が大きく貢献する事は誰もがご承知のことでしょう。最近では、毎日のように強盗などの凶悪犯罪のニュースが報道されています。</p> <p>市民、そして今後の日本を担う子どもたちの安全を守るために、また、高齢化が進む社会のなかで、認知症の徘徊、行方不明者の足取りを追う事など、防犯・監視カメラの設置の重要性は高まっていると考えています。</p> <p>伊豆市として市民の安心・安全、そして大事な子ども達を見守るためにも、防犯カメラは必須の設備だと考えています。そこで、以下についてご質問いたします。</p> <p>①伊豆市行政で設置した防犯カメラは何台あるのでしょうか。また、どこに設置されていて、それらの点検・管理は定期的に行われているのでしょうか。</p> <p>②伊豆市として、今後の防犯カメラの設置について計画はあるのでしょうか。</p>	市長

議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和5年2月27日

伊豆市議会議長 様

議席番号 6番 議員名 下山 祥二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	① 一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. 伊豆中央道、 修善寺道路の料 金徴収について	<p>伊豆縦貫自動車道は伊豆半島の観光拠点を繋ぎ伊豆地域の発展と活性化を図り、災害時には救急医療の緊急輸送道路としての機能を持つ高規格幹線道路として計画整備され、今なお早期全線開通を目指し伊豆半島の市町は連携して国、県に対して頻りに要望活動を展開しております。そのバイパス道路である伊豆中央道と修善寺道路では現在、有料道路として伊豆の国市江間、大仁南、伊豆市熊坂で通行料金を徴収しています。</p> <p>その料金徴収は本年10月2日を期限として無料化されるものと認識しておりましたが、昨年12月の静岡県議会一般質問において、伊豆の国市選出の土屋県議の質問に対し、交通基盤部長は料金徴収延長の可能性もあると答弁しました。</p> <p>今国会に提出された高速道路の料金徴収期間を50年間延長する道路特措法改正案の可決が前提条件だったが、それも2月10日に閣議決定されました。その後、本年2月22日の伊豆市選出の野田県議の一般質問の答弁では、明確に料金徴収期限を延長する方針を示しました。</p> <p>伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収は延長されるのか、無料化に期待していた市民の反応と日常生活への影響をどのように考えているか。また、伊豆へ訪れる観光客はどのように受け止めその流れをどのように想定するのか。長期的かつ広域的な視点で、今後の伊豆縦貫自動車道や市内の道路整備にどのような影響があると考えているか伺います。</p>	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
	<p>①伊豆縦貫自動車道の建設が計画されルート決定された歴史とその経緯について、またそのバイパス道路として伊豆中央道と修善寺道路が整備された背景について伺います。</p> <p>②伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収が延長された場合と無料化された場合、市民や観光客の反応による影響（メリット・デメリット）についてはどのように捉えているか具体的に伺います。</p> <p>③伊豆の国市議会は、昨年の9月議会で料金徴収期限翌日の無料化完全実施を求める意見書を全会一致で採択しました。その反面、伊豆市民にとっても大きな関心事であると思ったが、現状では大きな反響はなく、市民に十分周知されていないのではないかと危惧いたします。今後市民への説明（周知徹底）は考えていますか。</p> <p>④県議会一般質問における交通基盤部長の野田県議への回答を受けて、今後伊豆市としてはどのようなスタンスをとり、国や県への要望活動を展開していくのか。その方向性についてお聞きします。</p>	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和5年2月21日

伊豆市議会議員 様

議席番号 12 議員名 小長谷順二

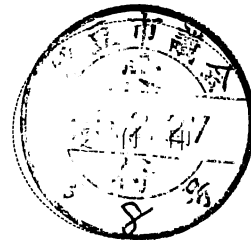
No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. 自然災害から市民生活を守る健全な森林育成	<p>森林は、木材の生産と水源の涵養、山地災害防止、土壌保全、快適環境の形成、生物多様性保全など多面的な機能の発揮を通じて、地域住民の生活と深く結びついています。この貴重な森林資源の伊豆市の現状を見ると、戦後営々と続けられてきた造林の推進により「伊豆市森林整備計画書」の人工林率は53%になっています。</p> <p>地球温暖化の影響からか、近年では、大型台風だけでなく、長雨や突発的な豪雨、竜巻による突風被害なども県内で発生しています。</p> <p>第2次伊豆市総合計画では、災害などリスクに強いまちづくりや森林環境譲与税を活用した林業振興を謳っていますが、森林が持つ大きな多面的価値やそれに寄せられている期待と、採算性が低いという林業が抱えている現実の間には大きなギャップがみられます。</p> <p>森林の価値を高めると共に市民生活を守るために必要不可欠な森林の整備・育成について以下の質問をいたします。</p> <p>① 森林環境譲与税と森の力再生事業を活用した市内の私有林や市有林の皆伐・間伐・再造林の進捗状況</p> <p>② 令和元年創設の森林経営管理制度に伴う経営管理の委託状況と林地台帳の整備状況</p> <p>③ 道路沿いの予防・修景伐採の状況</p> <p>④ 森林整備の作業路網の整備状況</p>	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 観光施策と 財源確保	<p>⑤ 伊豆市内の林業の専門家育成の状況</p> <p>⑥ 伊豆半島木材流通拠点大平地内中間貯木場の活用</p> <p>少子高齢化により社会保障費の増大、自治体は元より、国の財政も逼迫する中、新型コロナウイルス対応が追い打ちをかけ、国家財政の悪化に拍車をかけている昨今、交付金や補助金比率の高い当市にとっては、大変憂慮すべき時代となる事が想定できるので自主財源確保は必要不可欠になり、改めて基幹産業である観光施策が重要となってきます。</p> <p>第2次伊豆市総合計画後期基本計画のまちづくり重点目標の産業力の強化として「風情と風格が漂う国際的な観光文化環境都市を目指し、伊豆市の誇る歴史・街並みや景観、文化、スポーツなどの地域資源を活用し、その魅力を高め、市内外から多くの方が訪れ、楽しんでもらえる観光と交流が創設される事を目指す」と記載されています。</p> <p>近年、宿泊観光旅行は、団体旅行が減少し、家族や知人・友人との旅行が主流になり、ますます旅行形態は、個人化、小グループ化の傾向が強まっています。</p> <p>伊豆市の観光交流客数は平成2年の700万人をピークに、減少に転じ、それでもインバウンド事業の推進等で何とか300万人を維持していましたが、令和元年以降は300万人を下回り、コロナの影響で令和3年は200万人と激減しています。このような厳しい状況下、アフターコロナを見据え、国際的観光文化環境都市を目指すにはしっかりと財源確保が不可欠になるので観光施策と財源確保について以下の質問をいたします。</p> <p>① コロナ前からコロナ禍の宿泊客、観光交流客の推移</p> <p>② コロナ前からコロナ禍の入湯税の推移</p> <p>③ ふるさと納税の「観光地域づくり」に関する活用状況</p> <p>④ 観光庁高付加価値事業の検証と高付加価値化への取りくみ</p> <p>⑤ インバウンドの推進</p> <p>⑥ 観光人材の育成</p>	市 長

議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 2月 27日

伊豆市議会議長 様

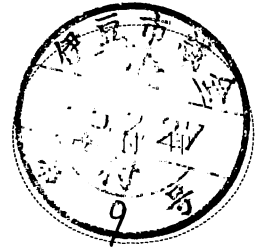
議席番号 14 議員名 三田 忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	① 一般質問 (一括・ 分割) ※発言予定時間 (20分・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	求 め る 者
1. 令和5年度当初 予算の概要について	①一般会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の予算が合併以降最大になる予算編成ですが、この予算編成の根拠、目的、理由等伺います。 ②この予算編成で、令和5年度あるいは将来にわたり、実現したいことはいかがなことでしょうか。 ③あえて、2年続けて同じ施政方針を継続する真意を伺います。	市長
2. 地域ふくしの充 実	伊豆市地域福祉計画の基本理念「支えあい、誰ひとり取り残さない社会の実現」、伊豆市地域福祉活動計画の基本理念「だれもが安心して暮らせる地域福祉づくり」実現のための予算措置は、社協への委託、当初予算にどのように反映されているのか伺います。	市長
3. 食の安心安全と 自然農法や有機農 法振興策	①有機農法による特別栽培米の普及活動は推進されていますが、野菜・果物等の分野への推進はいかがでしょうか。 ②学校給食等へのオーガニック作物の提供についての検討状況について伺います。 ③地産地消を目指して、伊豆市内旅館・食堂・商店等への販売促進推奨施策について伺います。 ④有機農法に関心を持つ方々に、遊休農地、耕作放棄地の解消のため、行政は土地活用の橋渡しを行うことが出来ませんか。	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
4. 観光資源の開拓と 中伊豆地区の活性化	<p>中伊豆地区にある「大見城」の活用と跡地の景観整備について伺います。</p> <p>①大見城址の今までの整備の概要について伺います。</p> <p>②土地所有者は私人でしょうか、法人でしょうか。</p> <p>③現状の景観整備、活用計画について伺います。</p> <p>④わさびの郷構想との連動、農産物直販所季多楽活性化策と絡めての整備をしませんか。</p>	市長
5. 道路網の整備と伊 豆スカイライン活用 について	<p>①伊豆スカイラインの活用促進を図り、東海岸への安心安全な道路整備のため、県道 112 号中大見八幡野線の整備促進を図りませんか。</p> <p>②伊豆スカイライン冷川料金所付近にスマートインターチェンジ用の出入り口をつけ、セブンイレブンの跡地を取り込み、スカイライン利用者の利便性向上と地域の活性化を図ることができると思いませんか。</p>	市長
6. 伊豆市監査委員の 監査結果の指摘に対 する取り組み状況	<p>部ごとに定期監査が行われていますが、監査結果の指摘事項や意見の取り扱い・改善策について伺います。</p> <p>①指摘事項や意見があった場合、伊豆市行政としての対応マニュアル等整備されているか伺います。</p> <p>②具体的な事例があれば、手順等伺います。</p> <p>③指摘事項等の該当部署職員や、他部等への周知徹底はいかに行うのか伺います。</p>	市長
7. 公の施設の市民利 用が禁止された場合 の復旧までの流れに ついて	<p>行政管理上破損等で修繕や取り換えが必要になった時の対応マニュアル等について伺います。</p> <p>①使用禁止が行われた際の表示等は定められたものがありますか。</p> <p>②復旧までに要する期限等の定めはありますか。</p> <p>③すぐに復旧できない場合の、利用者等への周知についての取り決めはありますか。</p>	市長 教育長

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 2月 27日

伊豆市議会議長 様

議席番号 3 議員名 鈴木 優治

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	① <input checked="" type="checkbox"/> 一般質問 (<input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (<input checked="" type="checkbox"/> 20分 ・ 30分) ② 質疑 ③ 討論 (反対 ・ 賛成) ④ その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 義務教育 (小学校、中学校) の将来をどのように描きますか	<p> 少子化 (出生率低下に基づく子供数の減少) は国全体の問題でもありますが、本市にとってもまさしく喫緊の問題と思われます。約 12 年前より小学校の再編の動きとなった小学校の沿革として、平成 23 年中伊豆地区は 3 小学校が合併、伊豆市立中伊豆小学校に。平成 25 年天城地区は 3 小学校が合併、伊豆市立天城小学校に。平成 30 年土肥地区は伊豆市立土肥小中一貫校に、それぞれの歴史を刻み再編現在に至っています。 </p> <p> 修善寺地区 4 小学校統合・再編も中伊豆地区、天城地区、土肥地区と同時期に検討されたと記憶しています。結果、賛成反対と議論が分かれて結論に至らず、その後、中学校合併問題が浮上、合併特例債を使用しての文教ガーデンシティ構想 (議会否決) の一環としての中学校合併問題は頓挫しました。その後、合併特例債の使用延長が認められ、合わせて中学校合併が進捗したと理解しています。結果、令和 7 年 4 月には新中学校は開校の運びとなりました。 </p> <p> 諸問題がありましたが、修善寺地区 4 小学校の再編問題はある意味置き去りにされたと考えるのは私だけでしょうか。既に 10 年余りの期間が過ぎています。当時の小学校 1 年生は中学校卒業です。時の流れの速さを感じます。この期間の児童、生徒は置き去りにされた感があります。前文に係る詳細な質問を以下に列記し、伺います。 </p>	市 長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2.伊豆市公共施設再配置計画の進捗状況は</p>	<p>① 新中学校建設の事業開始から開校までの歳出総額はいくらか。</p> <p>② 合併特例債の使用総額はいくらか。うち、新中学校分に充てられた金額はいくらか。</p> <p>③ 修善寺地区4小学校統合、再配置問題は現時点でどのように位置づけられているか伺います。私見ではありますが早速に保護者の皆様の意見集約を行い、議論を開始すべきと考える。当市の令和4年の出生数76名の事実もある。</p> <p>市長は、令和5年伊豆市議会3月定例会に於いて施政方針の中で「心理的負担を軽減するためには、困難な事業を一つ一つ完了させていくことが肝要と考えます。」と発言されています。全く同感いたします。そして、「当市も将来のための投資財源を確保することは必須であり、そのためには効果の小さい事業、目的達成のために貢献しない事業は大胆に縮小することが求められます。」とも発言されています。この事は、伊豆市公共施設再配置計画のことを指していると感じます。</p> <p>再配置の基本的な方針の中で示されている1.施設の検証による再配置、2.民間譲渡を含めた整理・統合、3.将来の財政負担軽減、4.近隣施設による代替機能を考慮した整理・統合、5.積極的な借地の解消の5点の再配置に向けた骨太の方針に従い、伊豆市公共施設再配置計画が進捗されることを期待しますが、現状把握のため以下の通り質問いたします。</p> <p>① 令和4年2月(素案)、令和4年10月(案)が示されたが以降の進展はありましたか。</p> <p>② 再配置の実行計画の進展はありましたか令和4年度内の実行計画が実施された案件があればお示ください。</p>	<p>市 長</p>

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>③ 複数年にまたがる検討案件で具体的に検討がされた案件はありますか。</p> <p>④ 借地の解消がされた案件はありますか。</p> <p>⑤ 再配置計画を進めていくうえで住民との合意形成は重要な課題となると思いますが、どのように合意形成していく考えかお聞かせください。</p>	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 2月 27日

伊豆市議会議長 様

議席番号 4 議員名 飯田 大

No. 1

発言の種別 (○で囲む) ① <input checked="" type="checkbox"/> 一般質問 (<input type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (<input type="text" value="20"/> 分 ・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
牧之郷地区計画の現状と主要事業について	平成 31 年 3 月に都市計画法に基づく「牧之郷地区計画」が決定されました。その中心的主要事業として駅周辺の都市施設整備が令和元年度より進んでいます。すでに全体造成工事が終了しほぼ全景が見渡せ、令和 5 年度事業スケジュールどおり植栽が施されれば、立派な駅前交通広場・緑地広場が完成します。伊豆市民がやすらぎを得られ、誇れるコンパクトタウンの中核としてとしての役割を発揮することとなります。 計画当初掲げた ① 田園地域の風土に合ったまちづくりの推進 ② 交通利便性を活かし、日常的な店舗や戸建てを誘導するとともに、事業所などの働く場を誘導し、若い世代の転入を促進し、多世代が共生する地域にする。 ③ 官民連携のまちづくりを進める。 など将来の姿を掲げました。 現在も周辺の住宅建築工事が進んでいます。一方では既存道路接続宅地用地は限りが見られ新たな用地確保が必要となります。都市施設整備を進めることにより、合理的な利用、利便性を活かした安全で快適な住宅地の形成に向けて以下について質問いたします
	答 弁 を 求める者 市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>① <u>牧之郷駅前広場の整備状況及び完成後の交通広場、緑地広場の管理使用規定について</u></p> <p>② <u>牧之郷区まちづくり構想区域における住宅の増加数について</u></p> <p>③ <u>働く場の誘導実績について</u></p> <p>④ <u>宅地開発に関する市の支援体制について</u></p> <p>⑤ <u>立地適正化計画策定の進捗状況及び牧之郷地区計画における誘導区域の設定状況について</u></p>	

議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和5年2月26日

伊豆市議会議長 様

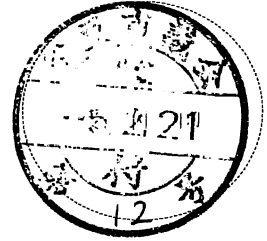
議席番号 8 議員名 星谷 和馬

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (<input type="text" value="20"/> 分 ・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
人口減少対策	<p>伊豆市の最大の課題は人口減少である。</p> <p>去る1月18日の新聞に2022年度の出生数は、なんと76人、前年度より31人も減少との報道。異次元の低さである。市長は「2年後に新しい中学校が出来るが、状況はより厳しくなっている。ここからが本当に伊豆市の正念場」と述べている。人口減少、出生数の低下は予見出来たはずです。過去に危機宣言を発したことがあるが、効果はない。しっかり議論、検証したのか伺いたい。</p> <p>急速少子化緊急対策をとりまとめ、総事業費6,048万円を計上。出会い・結婚、妊娠・出産、子育て支援を強化したが、一般会計比僅か0.26%、あまりにも少ない。これで出生数が増加するのか疑問であります。</p> <p>伊豆市の2045年度の人口、国の社人研の予測では、15,152人。今の状況が続くと無理である。活力あるまち作り、持続可能な伊豆市を維持するには本気で議論をして果敢に実行することだと思えます。特に若者が少ない、子育て支援と同様、充実することは必須です。</p> <p>以下について質問します。</p> <p>①少子化緊急対策、総事業費6,048万円。この金額、施策で出生数の増加見込めますか。</p> <p>②2045年度の人口、国の予測15,152人、市は21,000人。達成出来ますか。</p>
	答 弁 を 求める者
	市長

件名	内容	答弁を求める者
	<p>③奨学金返還支援、次年度は減額です。その理由は。若者が少ない伊豆市、何故拡充しないのですか。</p> <p>④旧橘保育園、旧さくら保育園の跡地の活用は。</p> <p>⑤民間事業者による宅地開発支援制度。その後の進捗、課題は。他の地区、もしくは市内全域に拡大しませんか。</p>	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和5年2月21日

伊豆市議会議長 様

議席番号 2 議員名 浅田 藤二

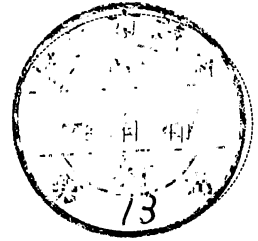
No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括) ・ 分割) ※発言予定時間 (20分) ・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()
発 言 の 要 旨	
件 名	答 弁 を 求める者
1. 地域づくり協議会について	市長
	内容
	<p> 昨年総務経済委員会で視察させていただいた島根県邑南町には、12の行政区があり、それぞれの地区で地域や個人が出資をして合同会社や株式会社をつくり、地域の産業や観光を盛り上げようと様々な取り組みを行い地域商社として活発に活動していました。その取組から新たな産業起こしや子育て世代の人口増加など大きな成果をあげていました。 </p> <p> この地域に活気をもどすにはどうすればいいのか。住民自らが考え、地域の活性化策を町にプレゼンテーションします。町にその活性化策が認められると300万円の補助金が地域商社に支払われます。 </p> <p> 人口380人の日和地区では、地域商社により民泊やワーケーション、移住者受け入れのための古民家改修やレストラン、高校の寮の運営、ふるさと納税事業を行っています。ふるさと納税は2億円の納税があり、12%の手数料を得ています。正社員13人、パートが10人ほどの商社でしたが、事業売上は約2億円ありました。 </p> <p> 邑南町のレストランや食事処では、金曜日から月曜日の4日間のみ営業する店が多く、平日や夜は人が来ないから営業しない。経営者に聞くと夫婦2人で売上はだいたい1,000万円弱。400万円を人件費にできる。貯金は年間100万円できて冬は雪が降るから12月から3月までは休業し、海外旅行に出かける。 </p>

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>都会でお金のために休みも惜しんで働いてきたみなさんが、そんな暮らしに疲れてゆっくり自分の人生を見つめ直したり、楽しみたいと邑南町に移住してくるそうです。</p> <p>移住された経営者のみなさんはこんなこともいっていました。「今まで（都会）は、お客さん主体のビジネスだったけれど、今（邑南町）は、私達がお客さんを選ぶ時代になった。自分が考えることに共感してくれる人がお客さんになってくれればいいんです。」</p> <p>ここに、これからのビジネスや生き方、幸せを感じる価値観のヒントがあるのではないのでしょうか。</p> <p>自分自身の魅力、伊豆市の魅力を議論して、付加価値をつけていく、全てにストーリー性を持たせブランド化していくことが大切だと強く感じました。</p> <p>また、各地域商社は町と協力しあい地域おこし協力隊の制度を活用して移住者受け入れにより地域活性化と人口増につなげていました。</p> <p>例えば、地域の新たな産業起こしのため、地域おこし協力隊の採用・派遣を町に提案・依頼し、協力隊を指導する産業起こしのための指導者は、国のその制度の中にある協力隊の活動費を利用し報酬を支払っていました。つまり、国の制度を利用し町や地域の実質的な費用負担無しで地域活性化や人口増が地域商社と町の協力で成し遂げられていることを確認することができました。</p> <p>質問します。</p> <p><u>これからの地域づくり協議会の将来像と持続可能にするための構想がありましたら、お考えをお聞かせください。</u></p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. ふるさと納税と DMOについて	<p>ふるさと納税により自主財源を確保していくことは、市民のための施策を実現すること、持続可能な将来への果敢な挑戦・投資のために、たいへん重要になってくると思います。</p> <p>ふるさと伊豆市寄附条例が改正され、1年が経とうとしています。</p> <p>質問します。</p> <p><u>①改正後のふるさと納税の状況について検証していただき、その効果、次に取り組むべきことなど考察をお願いします。</u></p> <p><u>②観光協会や商工会、農協、伊豆市など17の賛助会員で構成される伊豆市産業振興協議会(DMO)が、ふるさと納税の業務を担当することで、大きなプラスの変化がおきるのではないかと考えています。お考えをお聞かせください。</u></p>	市 長
3. 部活動の地域移行について	<p>伊豆市スポーツ少年団では、2月4日、11日と2週連続で「子どものやる気を引き出すスポーツ講座」を開催し、指導者自らが勉強し新しい知識を身につけ、来たるべき、部活動の地域移行に備えています。</p> <p>前回新中学校の教育課程の中で、地域と学校の話し合いの場、協議会のような組織が急ぎ必要だと提案させていただきました。教育委員会がどのようなことを考えているのか、どのように進めようとしているのかを指導者にお知らせいただきたいと要望します。</p> <p>質問します。</p> <p><u>部活動の地域移行について、どのように進めていくか、指導者との話し合いの場は、いつ頃、設けられるのか、現時点でのお考えをお知らせください。</u></p>	教育長

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 2月 27日

伊豆市議会議長 様

議席番号 5 議員名 黒須 淳美

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 「やさしい日本語」で伊豆市を元気に	(1)令和4年3月定例会で心のバリアフリーを目指して伊豆市に「やさしい日本語」を広めることについて一般質問しました。その前年に行われた東京2020大会のレガシーの一つと捉え、外国人だけでなく高齢の方、障害のある方、また教育現場でもお互いを認め合い対等な関係を築きながら共に生活していく上での有効なツールとして活用すべきではないかとの思いからでした。1年が経過しましたが、これまでの検討や取組みの状況、また、今後の予定を伺います。 ① <u>職員への取り組みとして、先ず県の「やさしい日本語」の手引きなどを使って周知するとのことでしたが、その後の進捗状況はいかがですか。</u> ② <u>課題として「市が作成する市民向けの案内、説明文書などやさしい日本語が全庁的に徹底されている状態になっていないこと」ということでしたがその後どのように改善されていますか。</u> ③ <u>「やさしい日本語」活用に関する勉強会を庁内に立ち上げていく、とのことでしたがその後の進捗状況はいかがですか。</u> (2)市民への情報発信のツールとして、「やさしい日本語」を取り入れていただけたら子どもから高齢者、障害のある方、また在住外国人などに更に分かりやすく伝わり、市民にとっての	市 長 教 育 長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2. 伊豆市の宝、子どもの笑顔のために</p>	<p>利便性向上につながると考えます。</p> <p>例えば、同報無線や情報メールなどでは火災や断水のお知らせその他生活に直結する情報も多く、市民には欠かせないものとなっています。これら同報無線や情報メールに「やさしい日本語」を今後導入していく考えはありますか。</p> <p>(3) <u>コロナ収束後を見据えた観光振興の面でも、注目すべき点として「やさしい日本語」を使って外国人観光客にも対応できるなど大きなメリットがあります。これらのことに対してどのような取り組みを検討していますか。</u></p> <p>(4) <u>教育の場での言葉の重要性は学習面のみならず、子どもたちの情操教育にも影響するものです。今後、小学校や中学校でも取り組むことを検討していただけますか。</u></p> <p>この3月定例会に提出された R5 年度予算書を見ますと、その重点事業の第一番目に「少子化緊急対策」が掲げられ、総事業費6千48万円が計上されてあります。</p> <p>これはR4年度の出生見込み数が100人を大きく下回る76人という危機的な状況に即応するため、出会い・結婚から妊娠・出産、そして子育てまで切れ目のない支援を、これまで以上に強化するものとの説明で、「第2子以降保育料無償化」や「伊豆っ子未来応援金支給事業」などの新規事業が見られます。</p> <p>また、伊豆市の人口減少対策の中に、移住定住促進事業やこども園体験付きお試し住宅事業などを拡充していくと示されています。</p> <p>このことは、現状に強い危機感を持ち将来に渡って持続可能な伊豆市を作るために、正に必要な施策であると評価できるものと思います。</p>	<p>市 長 教育長</p>

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>しかし、これらの事業が有効に展開されるためには、その一方で受け皿である保育士の増員や保育環境の改善などが求められるのではないのでしょうか。そこで次のことについて伺います。</p> <p>(1) <u>保育環境について</u></p> <p>① <u>伊豆市のこども園・保育園の保育施設の現状についてどのように把握していますか。</u></p> <p>② <u>保育士確保についての現状はどのようなものですか。</u></p> <p>③ <u>保育の質向上についてどのように認識していますか。</u></p> <p>(2) <u>保育士の人材確保のために給与を含めた待遇改善は考えられますか。</u></p> <p>(3) <u>小1プロブレムなど教育委員会と子育て支援課との更なる連携が必要な問題について、どのような連携の形が考えられますか。</u></p> <p>(4) <u>未就園児支援について、現況を踏まえ改善点などがありますか。</u></p> <p>(5) <u>保育環境の魅力度を上げることは子育て世代の移住・定住の促進につながると思います。将来に向けての方向性を聞かせてください。</u></p>	